



2017年6月14日  
公益財団法人 自然エネルギー財団

プレスリリース  
報道関係各位

【報告書公表のお知らせ】

## 日本の風力発電のコストに関する研究

公益財団法人 自然エネルギー財団は、この度「日本の風力発電のコストに関する研究」をまとめました。日本が持続可能なエネルギーシステムを構築していくために、風力発電は重要な電源の一つです。日本の風力発電は世界的にみてもきわめてコスト高であり、経済性の改善が大きな課題となっています。

本報告書では、事業者から提供された実際のコストデータをもとに、日本の風力発電のコスト構造を、資本費、運転維持費、発電実績といった側面から分析し、コスト構造に影響を与えているさまざまな要素について明らかにしています。風力発電が日本の基幹電源の一つになっていくために、今後のコスト低減の方向性を示唆しています。

PDF版全文は、自然エネルギー財団ウェブサイトにて公開しています。  
[http://renewable-ei.org/activities/reports\\_20170614.php](http://renewable-ei.org/activities/reports_20170614.php)

### <目次>

1. はじめに
  2. 国際的な風力発電のコスト状況
  3. 収集されたデータサンプルの妥当性
  4. 資本費の分析
  5. 風力タービンコストの分析
  6. 土木工事費及び電気工事費の分析
  7. 運転維持費の分析
  8. 発電実績の分析
  9. 結果の考察と今後の課題
- 参考文献

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人 自然エネルギー財団 広報 担当:辻本・坂上  
TEL: 03-6866-1020 FAX: 03-6866-1021 Email: [press\\_rei@renewable-ei.org](mailto:press_rei@renewable-ei.org)

自然エネルギー財団は、東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故を受けて、孫正義(ソフトバンクグループ代表)を設立者・会長として2011年8月に設立されました。安心・安全で豊かな社会の実現には自然エネルギーの普及が不可欠であるという信念から、自然エネルギーを基盤とした社会を構築することを目的として活動しています。